



スマホで素敵な写真を撮影！
写真のキホン講座



カメラの準備

レンズをきれいにする

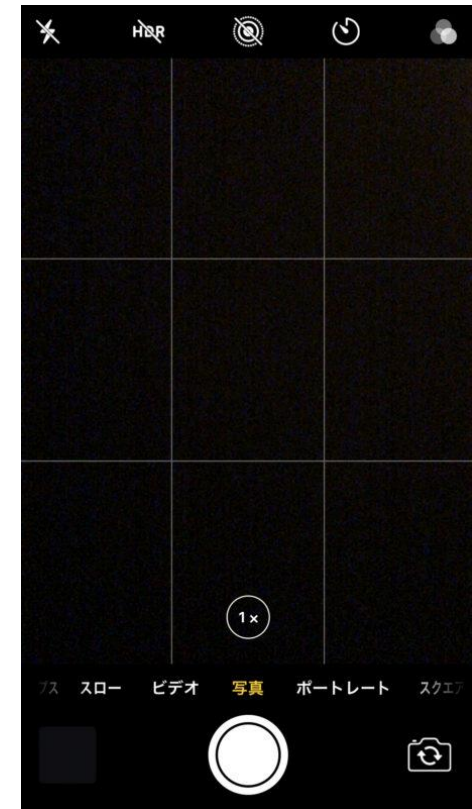
- レンズを拭くときは眼鏡拭きなどの柔らかい布で
- 保護フィルムが汚くなっていないかも確認

フラッシュをOFFにする

- フラッシュをONにしたままだと不自然な影が出る
※どうしても暗いときはフラッシュONでもOK

グリッド線を表示する

- 構図を決めるときグリッド線があると便利
※オススメは3分割グリッド
- iPhoneの場合：設定→カメラ→グリッド線ON



グリッド線を表示した状態

撮影のポイント ～基本編①～

両手でカメラを構える

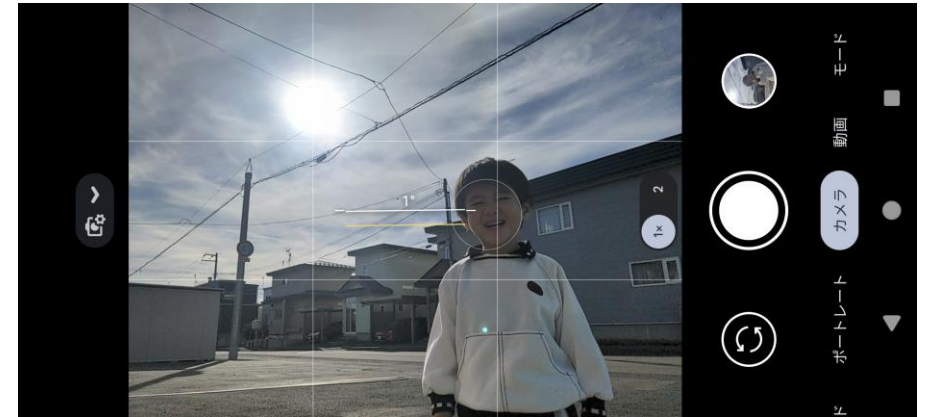
- 手ブレしないよう両手でスマホを支える
シャッターを押すときは脇を締める

被写体にピントを合わせる

- メインで写したいものをタップ
人の場合は顔をタップすると良い

露出を調整する

- タップすると表示される太陽マークで調整
※ピントを合わせることで露出が調整できる
※できれば逆光での撮影は避けるほうが良い



露出調整前



露出調整後

撮影のポイント ～基本編②～

自然光で撮影する

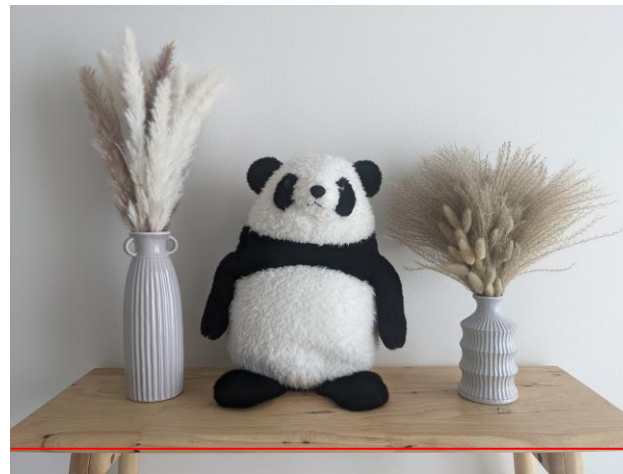
- 室内ならば窓+レースカーテン、屋外ならば明るい日陰
直射日光の場合、顔に影が出すぎたりまぶしそうな顔になったりしてしまう

被写体から少し離れて撮影する

- 近づきすぎるとひずみが出てしまう

水平・平行を意識する

- 線はまっすぐになっていると美しい
※グリッドを活用すると良い



近くから撮影

画像の外側に配置されているものにひずみが出ている



離れて2倍ズームで撮影

ひずみがなく本来の形で写っている

撮影のポイント～構図編～

グリッド線を使って撮影する

- 日の丸構図
- 三分割構図



日の丸構図

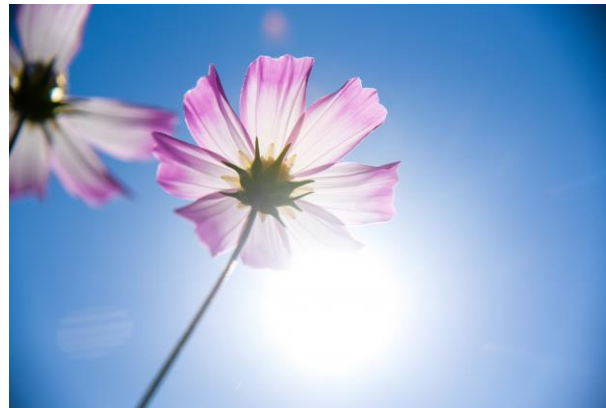


三分割構図

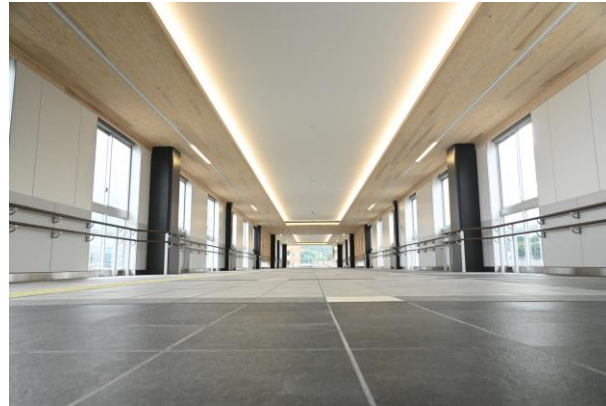
撮影のポイント～構図編 + a～

そのほかの構図

- シンメトリー構図
- ローアングル
- ハイアングル



シンメトリー構図



ローアングル



ハイアングル

撮影のポイント～+α編～

とにかくコミュニケーション！

- 明るい声かけで笑顔を引き出す
- 最後が「い」の口になる言葉によってもらおうと口角が上がって笑顔の写真に
例：「1+1は？にー！」「はいキムチー！」「タラバガニー！」など

少し離れたところから撮影する

- 構えていない自然な姿を撮影できる
- その際はスワイプして拡大してから撮影（光学ズームの範囲内であれば画質も低下しない）

寄りだけでなく、引きも撮影する

- 行事全体が分かる写真を撮影することで後から資料としても使える



写真を補正する

アプリの編集機能を使う

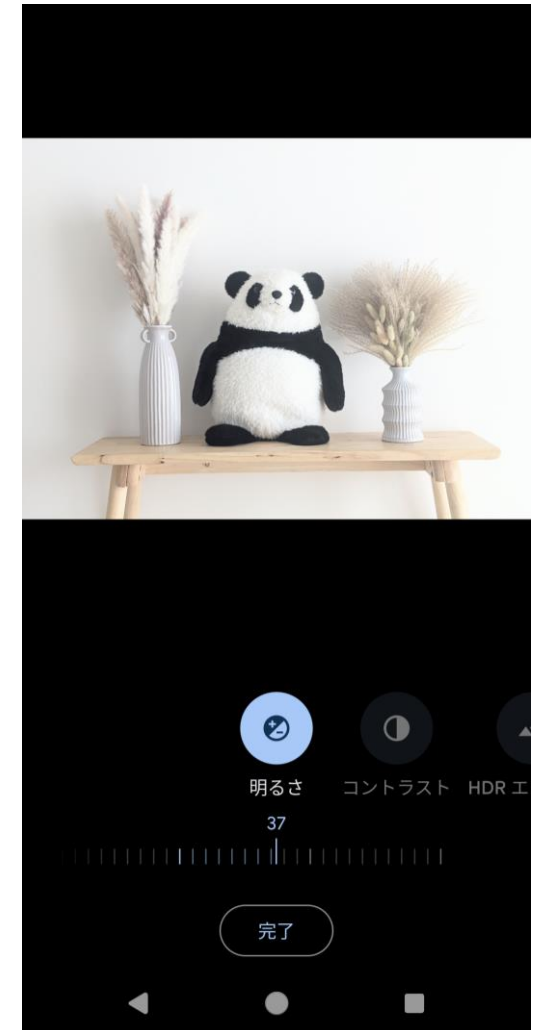
- 元々入っているアプリや無料アプリでも多くのことができる
- まずは「自動補正」を試してみる

暗すぎる写真や明るすぎる写真

- 露出（明るさ）・ハイライト・シャドウを調整

傾いてしまっている写真

- 切り抜きツールで傾きを補正



Google フォト の編集画面

文書やHPにスマホの写真を使う

クラウドに保存

- iCloudやGoogleフォトなどにアップロードした写真をPCからアクセスして取り込み、利用する

メールで送信

- PCで確認できるメールアドレス宛に写真を添付してメール送信
※おすすめはGmail

ケーブルで接続

- PCとスマホをケーブルで接続し、撮影データが入ったフォルダから写真データを移動
※大容量のデータを移動したいときに便利

バックアップ

SDや携帯に入れっぱなしにしない

2箇所以上に保存する

おすすめバックアップ先

- PCのHDDや外付けHDD
- iCloud
- グーグルフォト
- Amazonフォト

